

科目名		施工管理演習Ⅰ			
担当教員		細海幹人・遠藤聡		実務授業の有無	有
対象学科	測量建設科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	授業形式	講義	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	2級土木施工管理技術検定の重要ポイントを学習し、今年度前期の国家試験合格を目指す。授業の進め方としては、テキストを使って分野毎の重要ポイントを説明、その分野の過去問題を解答、その後、問題の解説を行う。				
学習目標 (到達目標)	分野ごとの過去問題で正解率60%以上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	土木一般 (土工・コンクリート・基礎工)		国家試験合格には重要な分野です。そのため、他の分野に比べ深く学習する必要があります。ポイントを理解し、60%以上正解できるようにする。		
2	施工管理法 (施工計画・安全管理・品質管理・環境保全・建設副産物)		「施工管理」の科目もあるため、土木施工演習Ⅰでは、最低限必要なポイントのみを説明します。ポイントを理解し、60%以上正解できるようにする。		
3	共通工学 (測量・契約設計・機械電気)		最低限必要なポイントのみを説明します。ポイントを理解し、60%以上正解できるようにする。		
4	法規 (労働基準法・労働安全衛生法・建設業法・道路関係法・河川関係法・建築基準法・火災取締法・騒音振動規制法・港則法)		「土木法規」の科目もあるため、施工演習Ⅰでは、最低限必要なポイントのみを説明します。ポイントを理解し、60%以上正解できるようにする。		
5	専門土木 (構造物・河川砂防・道路舗装・ダムトンネル、海岸・港湾、鉄道・地下構造物、上・下水道)		国家試験では選択で20問中6問解答すれば良いため、浅く広い勉強が効率的です。この授業では覚えやすいポイントを説明しますので全問解答で正解率50%以上		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
評価テスト	普段の取組姿勢			分野ごとの過去問題を教材として配布します。講師の解説を聞き、重要部分にアンダーラインを引いたり、補足説明を記入してください。国家試験対策用として後で重要な資料となりますので、きちんとまとめましょう。	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建設会社において測量を含む施工管理実務15年			